

質問



問 各種まちづくり計画の見直しが必要では
答 変化に柔軟に対応し、見直し検討を進める

は現在2期目で、計画の終盤期を迎えているが、その進捗状況と、今後の具体的な課題は。

△清原町長△

①地域の結びつきやまちのにぎわいが弱まつてきていると感じている。医療、教育、公共

いる。企業版ふるさと納税制度の条例化整備は、進捗の一つであると考える。

八清原町長

交通なども影響を受け、経済循環の悪化などが町並みにも大きな影響をもたらし、空き家や空き地が増えてくることとで、景観の悪化も懸念される。

△並木議員▽
　ハード面のまちづくり
リビジョンや都市計画
マスター・プランも20年
以上の長期を見据えた
計画である。
　見直しや改定が必要
と考えるが、如何か。

総合計画をはじめとする関連方針や計画は、それぞれの法的根拠を有し、検討の上で策定されている経緯もあり、御理解いただきたい。

各種計画が事業進捗の足かせにならないよう、見直しや改定を行った場合、住民が理

き公共サービスや公共施設などの取捨選択をしたまちづくりを進めるため、人口減少対策は、それぞれの計画の中で、こだわっていきたいと考える。

会の活性化や持続可能な発展をする機会と捉え、適切な対策を講じていく必要があると考える。

△清原町長▽
後期実施計画（総合
計画）の期間中に状況
に柔軟に対応し持続可
能なまちづくりのため
に、見直し検討を進め
るべきと考える。

解しやすい表現や編集方法を研究し、十分な説明を心がけ、ホームページなどで情報を周知、分かりやすい形で情報提供を行いたい。まちづくりを進める方向性としては、人口

▲並木議員▽
①人口減少が続く現在の市街地、農村地区を含めたまち並みの現状を、今までどのように捉えてきたのか。又現在どのように捉えているのか。
②「滝上町まち・ひとじご」と創生総合戦略

会の活性化や持続可能な発展をする機会と捉え、適切な対策を講じていく必要があると考える。

②4つの基本目標を定め成果指標を設定し、毎年度末に取りまとめ推進委員会で成果について議論している。

△清原町長▽
後期実施計画（総合
計画）の期間中に状況
に柔軟に対応し持続可
能なまちづくりのため
に、見直し検討を進め
るべきと考える。

解しやすい表現や編集方法を研究し、十分な説明を心がけ、ホームページなどで情報を周知、分かりやすい形で情報提供を行いたい。まちづくりを進める方向性としては、人口減少はやむを得ないと認識しているが、総合

課題としては、基本目標に対する数値目標の達成率がまだまだ十分でないこと、特に担当手対策の展開について

△並木議員▽

戦略に掲げる2050年、人口1530人を維持し、滝上町のあるべき姿を、逆算の視点でめどを立てるビジョ